

No.	作家名／Artist	生没年	作品名／Title	制作年／Year
2	イメージの向こうに	Behind the image		
34	トニー・アウスラー Tony OURSLER	1957	空気塞栓症 Bend	1998
35	北野謙 Ken KITANO	1968	『our face: Asia』より　ラマダン明けの礼拝に来たイスラム教徒38人を重ねた肖像(女)　No.1　2009年9月20日　インドネシア　マルク州アンボン市 38 Muslim Women Attending Prayers After Observing Ramadan, No.1, September 20, 2009, Ambon, Maluku, Indonesia from "our face: Asia"	2010
36	石内都 Miyako ISHIUCHI	1947	Mother's #24	2002/04
37	石内都 Miyako ISHIUCHI	1947	Mother's #49	2002/05
38	石内都 Miyako ISHIUCHI	1947	Mother's #14	2002/05
39	石内都 Miyako ISHIUCHI	1947	Mother's #6	2002/04
40	石内都 Miyako ISHIUCHI	1947	Mother's 25 MAR 1916 #46	2000/04
41	ジョセフ・コスース Joseph KOSUTH	1945	カラー Titled (Art as Idea as Idea), (COLOR)	1968
42	キム・ボム Beom KIM	1963	無題(木々) Untitled (Trees)	2016
43	オノデラユキ Yuki ONODERA	1962	古着のポートレート No.3 Portrait of Second-hand Clothes No.3	1994
44	オノデラユキ Yuki ONODERA	1962	古着のポートレート No.45 Portrait of Second-hand Clothes No.45	1997
45	アンドレアス・グルスキー Andreas GURSKY	1955	ピョンヤンV Pyongyang V	2007
46	トーマス・デマンド Thomas DEMAND	1964	木漏れ日 Flare	2002
47	ローリー・シモンズ Laurie SIMMONS	1949	ペイル・ブルー・リビング・ルーム Pale Blue Living Room	1983
48	ローリー・シモンズ Laurie SIMMONS	1949	ブルー・ウーマン / ブルー・ウォーター Blue Woman / Blue Water	1983
49	ローリー・シモンズ Laurie SIMMONS	1949	レッド・バスルーム Red Bathroom	1983
50	森村泰昌 Yasumasa MORIMURA	1951	侍女たちは夜に甦るI：ベラスケスの棺に跪く Las Meninas Renacen de Noche I: Kneeling before Velázquez's Casket	2013
51	森村泰昌 Yasumasa MORIMURA	1951	侍女たちは夜に甦るII：静寂のなかに小さな揺らぎを見つける Las Meninas Renacen de Noche II: Finding a Tiny Waver within Silence	2013
52	森村泰昌 Yasumasa MORIMURA	1951	侍女たちは夜に甦るIII：絵の深奥の扉を開ける Las Meninas Renacen de Noche III: Opening the Door in the Depth of the Painting	2013
53	森村泰昌 Yasumasa MORIMURA	1951	侍女たちは夜に甦るIV：画家の背中越しに秘密の光景を覗く Las Meninas Renacen de Noche IV: Peering at the Secret Scene behind the Artist	2013
54	森村泰昌 Yasumasa MORIMURA	1951	侍女たちは夜に甦るV：遠くの光に導かれ闇に目覚めよ Las Meninas Renacen de Noche V: Drawn by a Distant Light, Awaken to the Darkness	2013
55	森村泰昌 Yasumasa MORIMURA	1951	侍女たちは夜に甦るVI：王国の絵画、絵画の王国 Las Meninas Renacen de Noche VI: Kingdom's Painting, Painting's Kingdom	2013
56	森村泰昌 Yasumasa MORIMURA	1951	侍女たちは夜に甦るVII：ほんとうは何も起こらなかった Las Meninas Renacen de Noche VII: In Fact, Nothing Really Happened	2013
57	森村泰昌 Yasumasa MORIMURA	1951	侍女たちは夜に甦るVIII：そしてだれもいなくなった Las Meninas Renacen de Noche VIII: And Then There Were None	2013
58	シンディ・シャーマン Cindy SHERMAN	1954	無題 #129 Untitled #129	1983

No.	作家名／Artist	生没年	作品名／Title	制作年／Year
59	ヴォルフガング・ティルマンス Wolfgang TILLMANS	1968	大阪インスタレーション 1987 - 2015 Osaka Installation, 1987 - 2015	2015
60	ヴォルフガング・ティルマンス Wolfgang TILLMANS	1968	ローレンシュヴィマー（回転する泳ぎ手） Rollenschwimmer	1987
61	ヴォルフガング・ティルマンス Wolfgang TILLMANS	1968	アロンザンファン（さあ、祖国の子供たちよ）I Allons z'enfants I	1987
62	ヴォルフガング・ティルマンス Wolfgang TILLMANS	1968	ヒルフ・オーネ・ゲーゲンライストゥング（返礼なしの支援） Hilf ohne Gegenleistung	1991
63	ヴォルフガング・ティルマンス Wolfgang TILLMANS	1968	シルバー 69 Silver 69	2000
64	ヴォルフガング・ティルマンス Wolfgang TILLMANS	1968	いつやめればいいかわかっている to know when to stop	2005
65	ヴォルフガング・ティルマンス Wolfgang TILLMANS	1968	成長 growth	2006
66	ヴォルフガング・ティルマンス Wolfgang TILLMANS	1968	シュヴェルツェ（黒） Die Schwärze	2007
67	ヴォルフガング・ティルマンス Wolfgang TILLMANS	1968	アストロ・クラスト、a astro crusto, a	2012
68	ヴォルフガング・ティルマンス Wolfgang TILLMANS	1968	シルバー 97 Silver 097	2012
69	ヴォルフガング・ティルマンス Wolfgang TILLMANS	1968	ヴェッシェベルク（洗濯物の山） Wäscheberg	2012
70	ヴォルフガング・ティルマンス Wolfgang TILLMANS	1968	シルバー 141 Silver 141	2013
71	ヴォルフガング・ティルマンス Wolfgang TILLMANS	1968	シルバー 141 Silver 141	2013
72	ヴォルフガング・ティルマンス Wolfgang TILLMANS	1968	シルバー 143 Silver 143	2013
73	ヴォルフガング・ティルマンス Wolfgang TILLMANS	1968	ナイト・クイーン Nite Queen	2013
74	ヴォルフガング・ティルマンス Wolfgang TILLMANS	1968	ペーパー・ドロップ　プリンツェッスィネンシュトラッセ、a paper drop Prinzessinnenstrasse, a	2014
75	ヴォルフガング・ティルマンス Wolfgang TILLMANS	1968	コピー（大空） Photocopy (Firmament)	2015
76	ヴォルフガング・ティルマンス Wolfgang TILLMANS	1968	真実研究所（大阪） Truth Study Center (Osaka)	2015
A	アンリ・サラ Anri SALA	1974	アンサー・ミー Answer Me	2008
B	ダン・フレイヴィン Dan FLAVIN	1933-1996	無題（親愛なるマーゴ） Untitled (fondly to Margo)	1986
C	青木野枝（寄託作品） Noe AOKI	1958	晴玉-V Haretama-V	2004

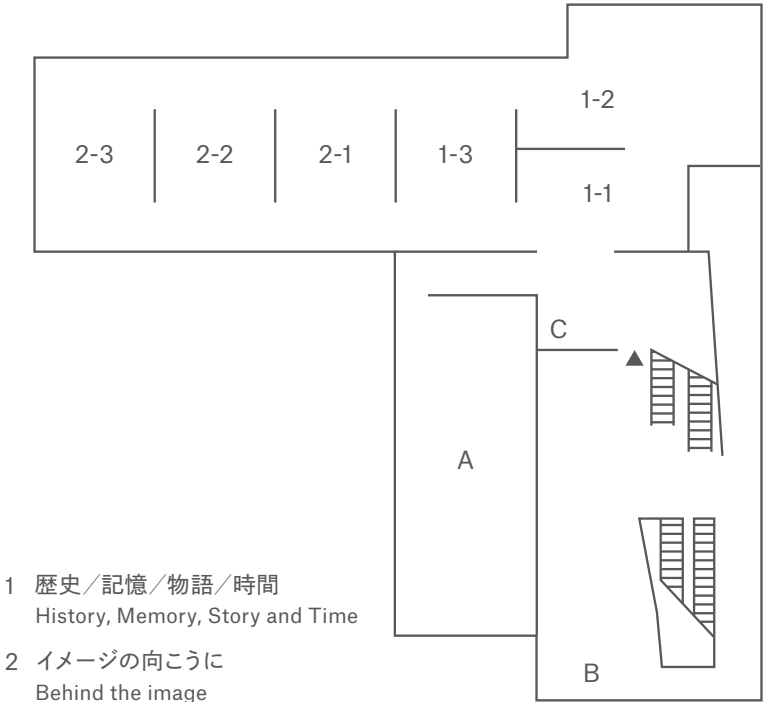
常設展示作品　Permanent Installation			
高松次郎 Jiro TAKAMATSU	1936-1998	影 Shadow	1977
ヘンリー・ムア Henry MOORE	1898-1986	ナイフ・エッジ Large Standing Figure: Knife Edge	1961/76
マリノ・マリーニ Marino MARINI	1901-1980	踊子 Dancer	1949
ジョアン・ミロ Joan MIRO	1893-1983	無垢の笑い Innocent Laughter	1969
アレクサンダー・カルダー Alexander CALDER	1898-1976	ロンドン London	1962
須田悦弘 Yoshihiro SUDA	1969	チューリップ Tulip	2006

コレクション3: Collection 3:

見えるものと Between
見えないもの Visible
and Invisible の
あいだ

2021年3月20日〔土・祝〕—5月30日〔日〕
20 Mar〔Sat, Public Holiday〕—30 May〔Sun〕, 2021

主催 | 国立国際美術館　協賛 | ダイキン工業現代美術振興財団
Organized by The National Museum of Art, Osaka　Sponsored by Daikin Foundation for Contemporary Arts



日本国内においては2020 年1月に始まったとされる新型コロナウイルスの感染拡大。このウィルスという「見えない」存在は、私たちが日常目にする(「見る」)生活に大きな影響を与え続けています。これにより私たちは、少なからず可視、非可視ということを意識せざるをえない日々を過ごしているとも言えます。

今回の「コレクション3」展のテーマは、写真家米田知子の作品シリーズ名「Between Visible and Invisible（見えるものと見えないもののあいだ）」から引用しました。このシリーズで米田は、写真に写し出されたイメージ(「見えるもの」)が、そのイメージに関連する人物にまつわる歴史や記憶という「見えないもの」を観者に投げかけることで、新たなイメージを創り出すということに挑んでいます。このように過去、多くの芸術家たちが直接的あるいは間接的に「可視」をテーマにした表現に取り組んできました。今コレクション展は「見えるもの」「見えないもの」をキーワードにして2つのセクションによって構成。まず「歴史／記憶／物語／時間」では、それぞれ歴史や記憶、物語、時間という「見えないもの」をいかに芸術家たちは表現してきたのか。また続く「イメージの向こうに」では、モチーフとして表現されたイメージの背後に潜む拡張された意味を探ります。約80点近くのコレクションにより私たちが何を見ているのか、そして作家たちは見えない何を露わにしようとしているのかを検証するものです。

1. 歴史／記憶／物語／時間

展示室の入り口近くに並べられた前述の写真家米田知子の作品シリーズ。画面中央には眼鏡が配置され、そのレンズ越しに手紙や原稿、楽譜が読み取れます。米田は、フロイト、ル・コルビュジェ、マラーーといった20世紀を代表する著名人を選び、彼らが実際に使用した眼鏡と文献等を通じて、その著名人にまつわる実際には「見えてはいない」歴史や当時の生活、記憶を浮かび上がらせます。しかしながらここでの「見えてはいない」とは「肉体のメカニズムによって形成される視覚(ヴィジョン)」に対する非可視というよりは、ハル・フォスターが述べる「社会性事実として形成される視覚性(ヴィジュアルティ)｣*という言葉が適切でしょう。またヤン・ヴォーの《ジョセフ・M・キャリア博士による写真(1962-1973)》(2010-19)では、キャリア博士により撮影された60年代から70年代にかけてのベトナムの市井の様子に、幼少時にポート・ピープルとして故郷を脱出したために母国ベトナムの記憶を持たないヴォーの生い立ち、見知らぬ故郷への追憶、セクシュアリティの問題が重なります。

マイク・ケリーの「カンドール」シリーズは、スーパーマンの故郷の惑星クリプトンにある街カンドールをテーマにしたものです。スーパーマンというヒーローのイメージや神話性を再構築し、権力、記憶、喪失が作品中に介在されています。カリン・ザンダーの「Mailed Painting（郵送された絵画）」シリーズは、通常の美術作品の輸送時に想定される梱包が用いられたのではなく、規定のカンバスをそのまま次の展示場所に郵送し、その場所を作品情報に追加するというコンセプトに基づいた作品です。発送時の偶発性を伴いながら貼られたテープやステッカーの痕跡は、各地を旅したカンバスがたどった時間の経過でもあり、古色(パatina)を備えていくカンバスを美術作品とすることで、ザンダーの批評精神がうかがえます。

2. イメージの向こうに

キム・ボムの《無題(木々)》(2016)は、糸芭蕉と呼ばれる和名を持つアバカとコットンパルプで包まれた2体のオブジェが木製台に載せられた作品です。有機的なフォルムを持つ彫刻作品に思えますが、その脇には作家による指示テキストが添えられています。1体には「午前9時から午後5時まで、これは木である。そして午後5時から翌朝9時まで、これはパルプの塊。」とあり、もう1体には「午前9時から午後5時まで、例え何であろうともあなたが考えている通りのものである。そして午後5時から翌朝9時まで、これは木である。」と書かれています。鑑賞者が何と考えてこのオブジェを見るのか。ボムによるテキストは、知覚そして任意の定義を曖昧にします。いわゆる「コンストラクテッド・フォトグラフィ」と分類できる、スタジオでの虚構の空間、事物が構成され撮影された写真群が多く配置された会場一角にあるシンディ・シャーマンの《無題# 129》(1983)。物憂げな表情をした女性が鑑賞者に向けて視線を投げかけています。身にまとっているのはファッション性の高い洋服。シャーマンは自身を被写体としたポートレイトによるアイデンティティの操作、フェミニズム問題の提起で知られています。本作は「ファッション・シリーズ」の一点で、有名デザイナーの洋服を身にまとうモデル像をシャーマンが扮することで、一般大衆が抱くモデルというステレオタイプのイメージに一石を投じています。

ヴォルフガング・ティルマンスによる「大阪インストール ション1987-2015」を構成する、部屋の中央に置かれたテーブル群《真実研究所(大阪)》(2015)。これはティルマンスが2005 年から進めるプロジェクトですが、宗教的、政治的なイデオロギーの背景に潜む「真実」に対する永遠の真理の追求の言説を検証しようとしたものであり、テーブルの上に写真や新聞、雑誌、ウェブの印刷といった様々な印刷物が並べられています。こうしたイメージ、文献等を通じて普遍的な真理を追求しようとする私たちに、それは不可能なことだとするティルマンスの皮肉がタイトルに込められてもいます。

会場に響くドラムの音。アンリ・サラの映像作品《アンサー・ミー》(2008)は、ベルリン郊外にある「トイフェルスベルク(＝悪魔の山)」と呼ばれる、バックミンスター・フラーにより設計されたドームで撮影されました。このドームは、冷戦時代には米軍が旧東側への盗聴活動を行なっていた場所であり、フラーによる独特な建築空間が非常に長い音響効果を生み出しています。映像では1組の男女による物語が進行します。若い男がドラムを激しく叩き、それを見つめる若い女が何事を問いかけますが、男はそれを無視しドラムを叩き続けます。一瞬のポーズ時に女の「アンサー・ミー(答えて!)」という声が聞こえますが、答えることを拒絶するかのようにドラムを叩き続ける男の姿が映されます。イタリアの映画監督M. アントニオーニから触発されたサラは、会話ではなくクローズアップされた男の力強い眼差しと悪魔の山に響き続けるドラムのリズムで、この2人の関係の行方を見事に表現しています。

植松由佳(国立国際美術館主任研究員)

* ハル・フォスター「序文」(ハル・フォスター編 樽沼 範久訳「視覚論」、平凡社ライブラリー608、株式会社平凡社、2007 年)

The novel coronavirus is believed to have started spreading across Japan in January of 2020. This “invisible” virus continues to exert a huge influence on our (“visible”) daily lives. In that sense, we have been forced to spend a good deal of time thinking about the visible and invisible.

The theme of the Collection 3 exhibition is derived from the photographer Yoneda Tomoko’s Between Visible and Invisible . In this series, Yoneda endeavors to create new images by using the visible medium of photography to present us with the invisible entities of history and memory as they relate to people. In the past, many artists have made similar attempts to deal, either directly or indirectly, with the theme of visibility.

This edition of the collection exhibition is divided into two sections based on the keywords of “visible” and “invisible.” First, in “History / Memory / Story / Time,” we examine how artists have expressed the invisible in these four categories. Then, in “Behind the Image,” we search for the underlying meaning of an image as expressed through a motif. In the approximately 80 works in the exhibition, we consider what we can see in the works as well as the unseen things that the artists are trying to show us.

1. History / Memory / Story / Time

Near the entrance to the gallery, you will find the aforementioned series by Yoneda Tomoko. In the center of these pictures are a pair of glasses. Through the lenses of the glasses we can see a letter, manuscript or musical score. Yoneda chose some of the 20th century’s most noteworthy figures, including Freud, Le Corbusier, and Mahler. By shooting her subjects’ actual glasses and papers, she sheds light on their “invisible” history, their lives, and their memories. In this case, however, the invisible is probably closer to Hal Foster’s notion of visibility as something shaped by social facts than it is to a vision shaped by a physical mechanism.*

Meanwhile, in Danh Vo’s Photographs of Dr. Joseph M. Carrier (1962-1973) (2010-2019), ordinary scenes of Vietnam in pictures taken by Dr. Carrier in the 1960s and ’70s overlap with Vo’s own background (the artist escaped from Vietnam as an infant, and has no memories of the country), his reminiscences of the homeland he never knew, and questions of sexuality.

Mike Kelley’s Kandors series deals with the eponymous city, Superman’s birthplace on the planet Krypton. By restructuring the image and mythology surrounding the hero, Kelley imbues the works with authority, memory, and loss.

Karin Sander’s Mailed Paintings series is based on the concept of mailing a regular piece of canvas to each exhibition venue, rather than using the conventional methods of packing and shipping art. In the process, information related to each venue is added to the work. Traces of the tape and stickers that were affixed to the work at the time it was sent serve as a temporal record of the canvas’ travels from place to place. And Sander’s critical spirit comes to the fore when we view the canvas (supplemented by this patina) as an artwork.

2. Behind the Image

Kim Boem’s Untitled (Trees) (2016) consists of two objects wrapped in abaca and cotton pulp placed on a wooden stand. Although the work has the appearance of a sculpture with an organic form, it is accompanied by instructional texts written by the artist. The first reads: “From 9am to 5pm, it is a tree. From 5pm to 9am in the next morning, it is a clump of pulp.” The second reads: “From 9am to 5pm, it is exactly the thing whatever you think it is. From 5pm to 9am in the next morning, it is a tree.” What do we think when we see these objects? Boem’s texts obscure our sense of perception and judgment.

In one corner of the gallery, you will find Cindy Sherman’s Untitled #129 (1983). It is part of a group of works that were made and shot in the fictional space of the studio (this genre is sometimes called “constructed photography”). A woman, dressed in high-fashion clothes, stares out at us with a listless expression. Sherman is known for raising questions about feminism by manipulating her identity in portraits in which she serves as the subject. This work is part of the Fashion Series . Here, Sherman dresses up as a model in famous designer clothes to upend widespread stereotypes about models.

Wolfgang Tillmans’ Truth Study Center (Osaka) (2015), displayed on tables in the middle of the room, is part of Osaka Installation 1987-2015 . In this ongoing project, which Tillmans began in 2005, he examines statements about the search for eternal truth as they relate to the underlying “truth” of religious and political ideologies. The work consists of a variety of printed matter, including photographs, newspapers, magazines, and texts from the web laid out on a table. The sarcastic title refers to the fact that it is impossible for us to find universal truth in these images and documents.

The sound of a drum resounds through the gallery. Anri Sala’s video work Answer Me (2008) was shot in a geodesic dome designed by Buckminster Fuller in a suburb of Berlin called Teufelsberg (“Devil’s Mountain”). During the Cold War, the dome was used by the U.S. military to wiretap phones in East Germany. Fuller’s unique architectural space generates extremely long reverberations. In the video, a man and a woman act out a story. The young man beats the drum violently, causing the young woman watching him to question what he is doing. He ignores her and continues to strike the drum. As he momentarily strikes a pose, we hear the woman shout, “Answer me!” But the man keeps beating the drum in what seems to be a refusal. Inspired by the Italian film director Michelangelo Antonioni, Sala brilliantly expresses the relationship between the two by eschewing conversation, and focusing on close-ups of the man’s strong glare, and the rhythm of the drum as it echoes through Devil’s Mountain.

Yuka UEMATSU (Curator, The National Museum of Art, Osaka)

*Hal Foster, ed., Vision and Visibility (Discussions in Contemporary Culture), Seattle: Bay Press, 1987.

No.	作家名/Artist	生没年	作品名/Title	制作年/Year
9	米田知子 Tomoko YONEDA	1965	トロツキーの眼鏡―未遂に終わった暗殺計画の際に燃やされた辞書を見る Trotsky's Glasses - Viewing a dictionary that was damaged in the first assassination attempt on his life	2003
10	米田知子 Tomoko YONEDA	1965	ブレヒトの眼鏡―ベンヤミンからの献辞を見る Brecht's Glasses - Viewing a Dedication by Walter Benjamin	2008
11	米田知子 Tomoko YONEDA	1965	坂口安吾の眼鏡―「朝鮮会談に関する日記」の原稿を見る Sakaguchi Ango's Glasses - Viewing his "Diary of the Korean Conference"	2013
12	米田知子 Tomoko YONEDA	1965	安部公房の眼鏡―「箱男」の原稿を見る Abe Kobo's Glasses - Viewing the Manuscript of "The Box Man"	2013
13	米田知子 Tomoko YONEDA	1965	藤田嗣治の眼鏡―日本出国を助けたシャーマンGHQ 民政官に送った電報を見る Foujita's Glasses - Viewing a telegram he sent to GHQ officer Sherman who helped him leave Japan	2015
14	オスカー・トゥアゾン Oscar TUAZON	1975	White Steel	2010
15	ヤン・ヴォー Danh VO	1975	ジョセフ・M・キャリア博士による写真(1962-1973) Photographs of Dr. Joseph M.Carrier 1962-1973	2010-19
16	田中敦子 Atsuko TANAKA	1932-2005	地獄門 Gate of Hell	1965-69
17	芥川(間所)紗織 Saori AKUTAGAWA (MADOKORO)	1924-1966	「神々の誕生」神話より From a Myth "The Birth of Gods"	1956
18	マイク・ケリー Mike KELLY	1954-2012	シティ3-1(「カンドール」シリーズより) City 3 (1of 5)(from series Kandors)	2007 -09
19	マイク・ケリー Mike KELLY	1954-2012	シティ13-1(「カンドール」シリーズより) City 13 (1of 10)(from series Kandors)	2007 -09
20	フェリックス・ゴンザレス＝トレス Felix GONZALEZ-TORRES	1957-1996	「無題」(ラスト・ライト) "Untitled" (Last Light)	1993
21	杉本博司 Hiroshi SUGIMOTO	1948	バルト海、リュウゲン島 Baltic Sea, Rugen	1996
22	杉本博司 Hiroshi SUGIMOTO	1948	ブロスベクトパーク・シアター、ニューヨーク Prospect Park Theater, New York	1978
23	杉本博司 Hiroshi SUGIMOTO	1948	ビーコン、ニューヨーク Beacon, New York	1979
24	杉本博司 Hiroshi SUGIMOTO	1948	パームス、ミシガン Palms, Michigan	1980
25	坂上チユキ Chi-yuki SAKAGAMI	1961-2017	ニケ(古色蒼然) Nike (Patina)	1979
26	ウテ・リンドナー Ute LINDNER	1968	露出時間 Belichtungszeiten	1996
27	須田悦弘 Yoshihiro SUDA	1969	雑草 Weed	2006
28	カリン・ザンダー Karin SANDER	1957	Mailed Painting（郵送された絵画）161, ボン-ローマ-チューリッヒ-ベルリン-ベルギッシュ・グラートナッハ-ベルリン-大阪 Mailed Painting 161, Bonn - Roma - Zürich - Berlin - Bergisch Gladbach - Berlin - Osaka	2015
29	カリン・ザンダー Karin SANDER	1957	Mailed Painting（郵送された絵画）191, ボン-香港-ベルリン-大阪 Mailed Painting 191, Bonn - Hong Kong - Berlin - Osaka	2018
30	カリン・ザンダー Karin SANDER	1957	Mailed Painting（郵送された絵画）165, ミュンヘン-ローマ-チューリッヒ-ベルリン-香港-デラウェア-ベルリン-大阪 Mailed Painting 165, München - Roma - Zürich - Berlin - Hong Kong - Delaware - Berlin - Osaka	2015
31	カリン・ザンダー Karin SANDER	1957	Mailed Painting（郵送された絵画）179, ボン-ベルリン-大阪 Mailed Painting 179, Bonn - Berlin - Osaka	2017
32	カリン・ザンダー Karin SANDER	1957	Mailed Painting（郵送された絵画）148, ボン-ベルリン-香港-ベルリン-バーゼル-ベルリン-大阪 Mailed Painting 148, Bonn - Berlin - Hong Kong - Berlin - Basel - Berlin - Osaka	2014
33	カリン・ザンダー Karin SANDER	1957	Mailed Painting（郵送された絵画）168, ベルリン-ニューヨーク-チューリッヒ-ベルリン-メキシコシティ-ベルリン-香港-デラウェア-ベルリン-大阪 Mailed Painting 168, Berlin - New York - Zürich - Berlin - Ciudad de México - Berlin - Hong Kong - Delaware - Berlin - Osaka	2015